



西消防団押部谷支団

支団長 中村 勝俊 さん

## 押部谷消防団の頼れる若きリーダー

〔執筆〕西消防団押部谷支団

藤田 和丸

我々が暮らす押部谷地区は、神戸

市西区の北西部に位置し、明石川沿いに開けた集落で、西神ニュータウンや複合産業団地などに囲まれた自然豊かな地域です。農業や畜産が盛んであり、特産物として、押部の菊、高和のナシ、木津・栄・細田などのイチゴ、おしんべの丘のモモ・ブドウ・カキ、畜産団地の神戸ビーフなどが生産され、大型直売所（六甲のめぐみ）などで販売されています。

この押部谷地区の安全を守る西消

防団押部谷支団から、今回は、支団長の中村勝俊さんを紹介したいと思います。

中村支団長率いる押部谷支団は、支団本部と6分団12班、団員164名で構成されています。支団本部については、中村支団長以下、平均年齢が42歳という、若くて元気なチームです。

中村支団長は、昭和31年生まれの53歳。普段は農業に従事され、施設でイチゴ栽培に取り組み多忙な日々の中で、消防活動にも尽力されています。昭和52年、20歳のときに押部谷消防団木津班に入団されて以来16年間、木津班で活躍後、一度は引退するものの、支団本部に再度入団し、平成15年の西区ポンプ操法大会で優勝したときのメンバーとして活躍するなど、数々の実績を残されています。

誰にでも気配りができ、広い視野で物事を考えることができる中村支団長は、見た目通り、いつも気軽に声を掛けてくれる優しい方です。うわさでは、女性にすぐくモテていたとか。私が支団本部に入団してからも、熱心に指導してくださり、私たち団員にとって、大変信頼できるリーダーです。

この中村支団長をリーダーとする押部谷支団は、地域の防災福祉コミュニティ（6カ所）と連携しての取り組みや、明石川水辺フォーラムなどの活動を盛んに行っています。中でも、ポンプ操法大会を通じての若手育成、また、年2回のゴルフコンペ、そして、今年度は第1回目のボーリング大会を開催するなど、常に団員間の親睦を図り、消防活動においての団結力を強化しています。

今後も中村支団長を中心として、地域の安全を守るため、積極的な活動を展開していきたいと思えます。